

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

フッ化ナトリウムスピッツの血糖測定の比較対照としての血液ガス分析・簡易血糖測定値の有用性に関する検討

[当院研究責任者] 部署名 小児科 氏名 家田 訓子

[研究の背景] 新生児においては低血糖のリスクは高く、症状は非特異的であり検出は難しいとされます。そのため血糖値をモニタリングすることは重要です。血糖値の測定においてはフッ化ナトリウムスピッツによる測定(以下 NaF)がゴールドスタンダードですが、血液ガス分析器(以下 BGA)、簡易血糖測定器(以下 SMBG)、は少量の血液により血糖測定を行うことができます。そのため新生児血糖管理において有用であり頻用されていますが、フッ化ナトリウムスピッツによる血糖測定値との比較を示したデータは少ないのが現状です。そこで各測定機器による検査精度を検討します。

[研究の目的] 今回の研究により適切な血糖測定法を確立することができれば、それに伴い新生児の血糖の正確な測定が可能になり、また必要な採血量を減らすことで新生児の負担軽減につながることを期待されます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2019 年 11 月 1 日から西暦 2020 年 2 月 28 日の間に、当院 NICU に入院したお子さん。

●研究期間:実施承認日から 2021 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体:利用しません

出生したお子さんのカルテ情報:

在胎週数, 出生身長体重, 入院時血糖値, 入院時血液ガス分析結果

●検体や情報の管理:カルテ情報は、当院のみで利用します。

[研究組織] この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 小児科 氏名 平尾 高

電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139